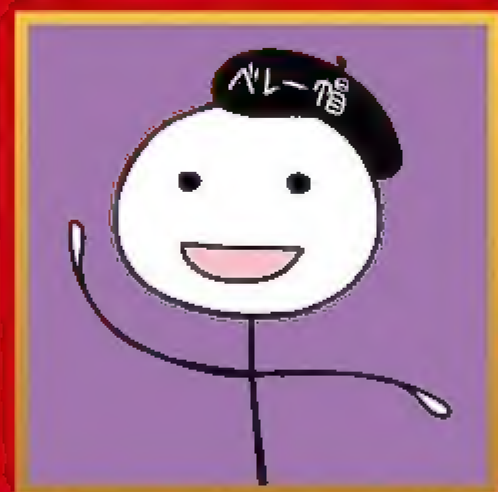


漫画
小島紗
私もシスティナさんと
蛍さんに挟まれたい。



原作
伏(龍)
千葉県出身。最近たるみ気味の
お腹が気になる駄目な龍。
「小島先生の描く艶やかな
ヒロインたちが最高です!」

COVER DESIGN
YUSUKE KURACHI(Astrorb)

魔剣師の魔剣による魔剣のためのハーレムライフ

【原作】伏(龍)
【漫画】小島紗
【キャラクター原案】POKImari
【構成】そよき 【協力】新紀元社

BAMBOO COMICS

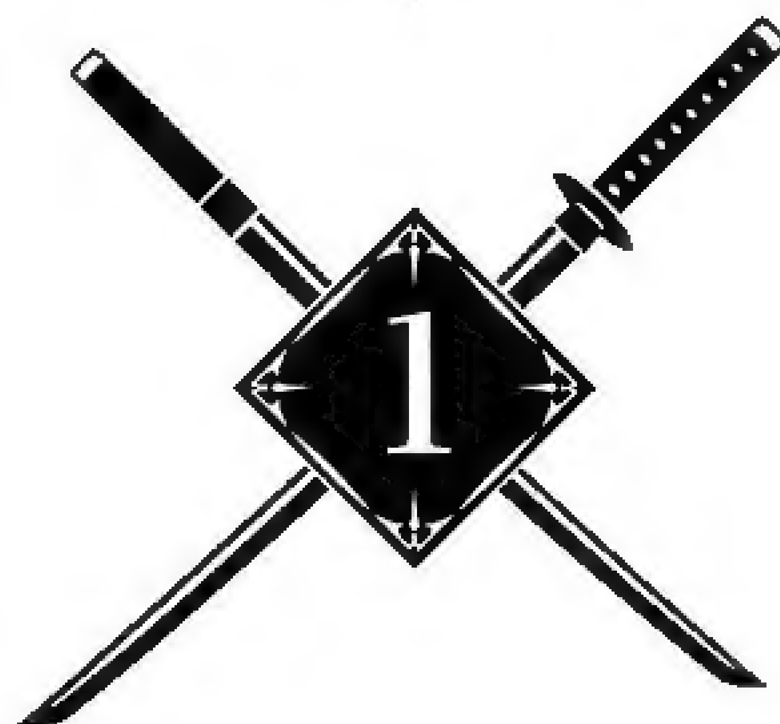
1

【原作】伏(龍)【漫画】小島紗

【キャラクター原案】POKImari

【構成】そよき【協力】新紀元社

魔剣師の
魔剣による魔剣のための
ハーレムライフ



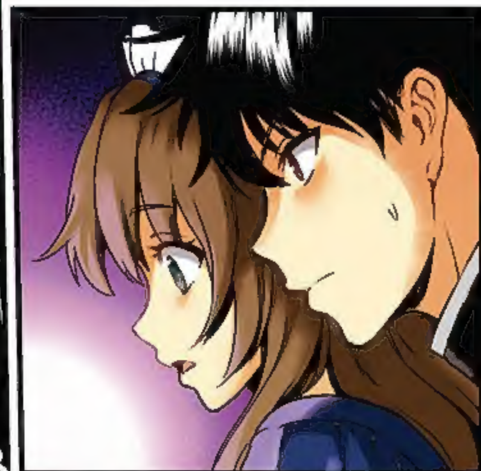
CONTENTS

初出:WEBコミックガンマぷらす



『擬人化!』





第01幕 総司狼、異世界生活を始める


ほう
これが人の身か
これほど面白い体験もあるまい——


お疲れ様……さん
……ろ……きろ
起きろ
んっ
うるさいなぁ
そんなに
言われなくても
まぶしっ…
ザァア…
……あぁ
…ここが
〝俺らしく
生きられる世界〟か



何も…ない…





腰——？

もしかして この刀…!?

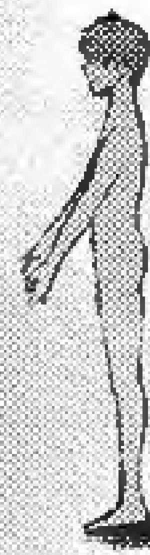
もしかしなくとも 私だ

俺の愛刀が 喋った…

おぉお—— テンション上がった!!

もう 死んでもいい!!





よろしくな
愛刀(仮)
なんだ
味気ない
呼び名だな
ポッ
ナデナデ

我が銘は『蛍丸』じゃ

蛍でよい




ちょっとまてえええ
NORTH
SOUTH
蛍丸って言った？ 言ったよね！
蛍丸って言ったら
南北朝時代に作られて
1931年に国宝に指定されたけど
太平洋戦争終戦時の混乱の中で
行方不明になってたあの蛍丸？


うおおおパクった犯人かよ
刀収集癖のあった
じーさん愛してる
グッジョーブ！


3年間毎日
振っておきながら
私の銘を知らなかった
とは…
カチャ
カチャ
じゃあ 蛍さんは
俺の名前知ってんの？


………知らぬ
ゴニョ

では改めまして

俺は富士宮総司狼（ふじのみやそうじろう）

総司狼って呼んでくれれば嬉しい

よい名じゃ
これからよろしく
頼むぞソウジロウ

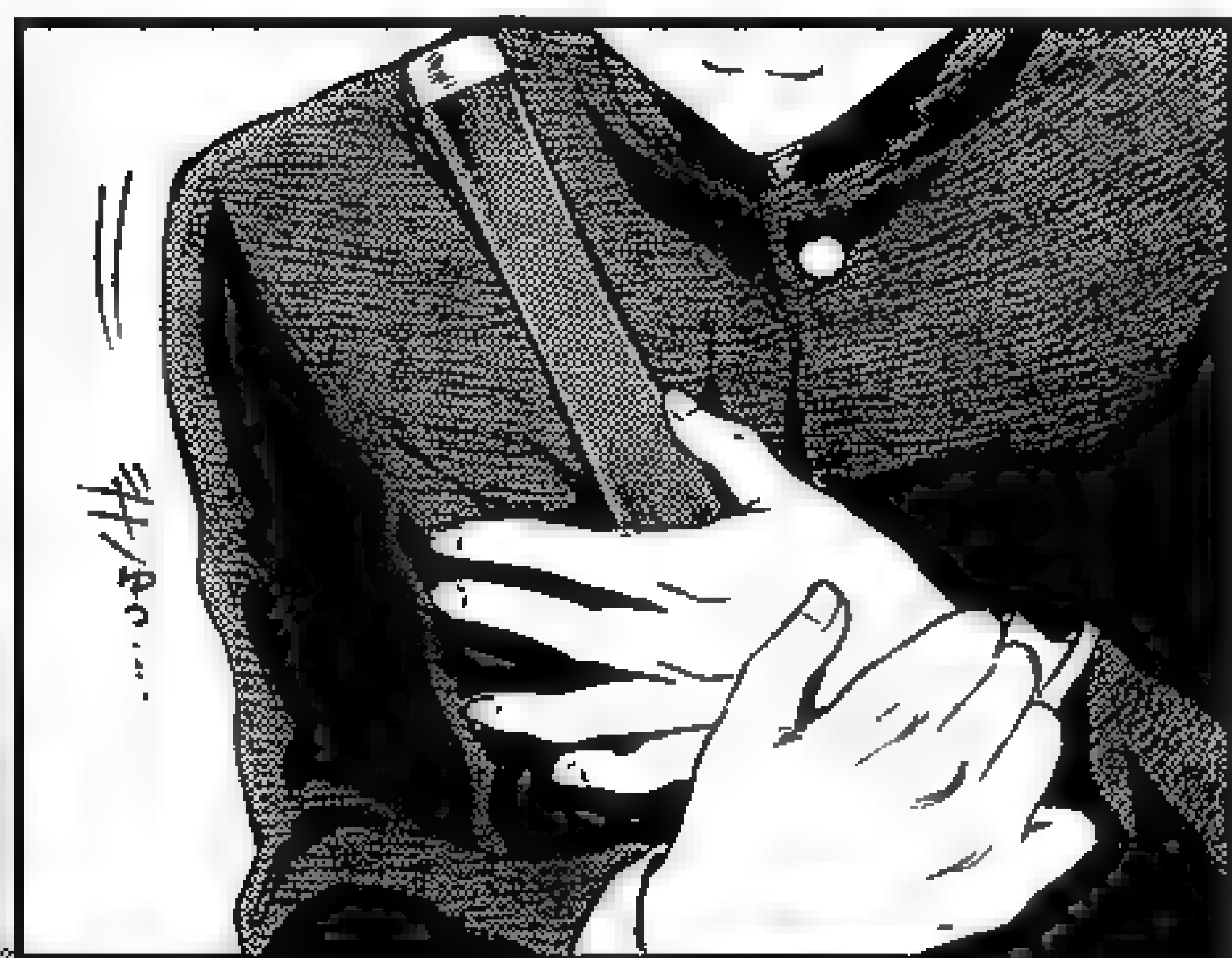
こちらこそよろしく蛍さん

じゃあこっちの無口な子も名前あるのかな

どうだろうな…
若い刀だ
まだ言語能力がないのだろう

ソウジロウにつけてもらう方が喜ぶような気がするな







今は世界にたった3人

助け合って頑張っていこう

フゥ

相変わらずソウジロウは軽いのぅ…というより刀以外には興味がないのか？

うふ～ん

おなごとかはどうじゃ？

あるに決まっている

どやー

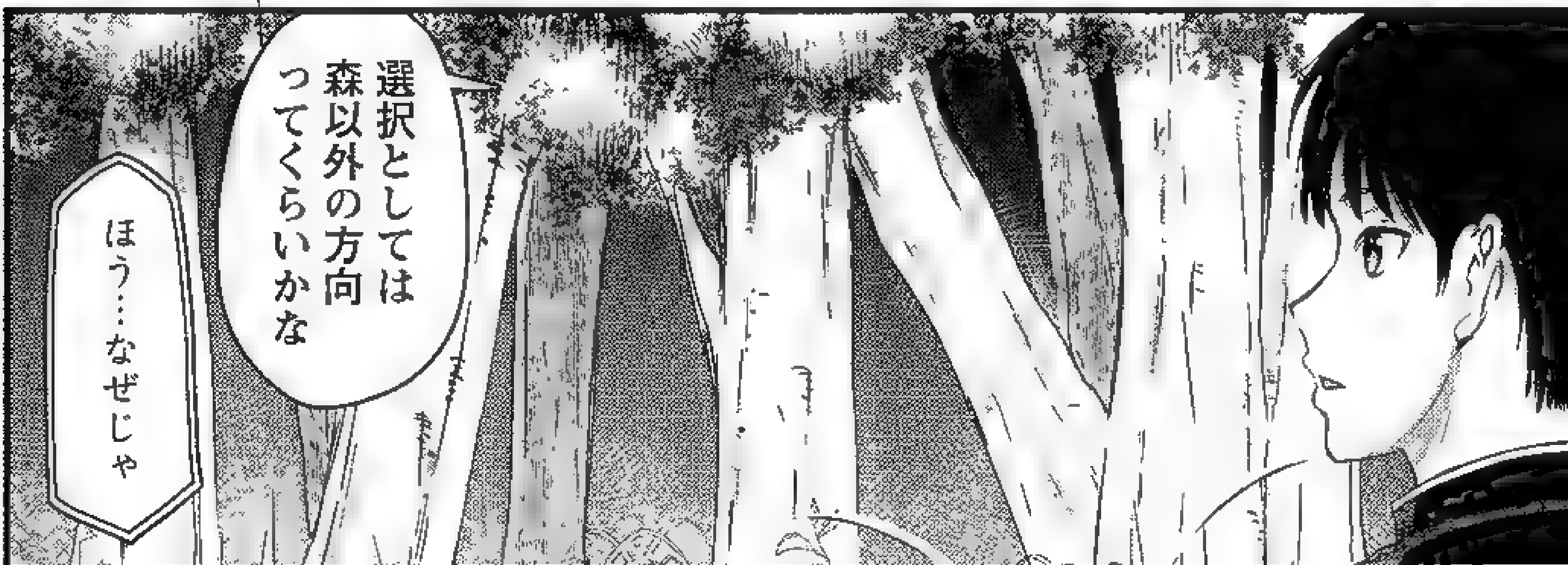
ザッ

ほう
それはよかった
男子たるものやはり
そっちも強くなければな

その辺はまあ
今後のこととしても
とりあえずこれから
どうするかということを
決めねばなるまいな








この星の生態系が
全くわからない
その辺の知識ができるまでは視界の悪いところや
変なものが住み着いてそうな場所は避けた方がいい
なるほどのう
軽いように見えてもちゃんと考えておるのじゃな
ならばまずはあの丘の上まで行ってみるかの
ヒュオオ…
視界が広がればまた何か見えるかもしれん

よし 行くか
サク
サク
サク
空気が うまいなあ
身体も軽い
トトトトト
そうか そうか

地球（生前）ではそれほど
生き苦しさを
感じてたってことか

遠くにある あの
線香みたいなのは
なんだろう

ふぅむ
いずれは行くやも
しれんな

あっという間に
着いちゃったな

森行かなくて
よかったー

ソウジロウ

ん


ミカレアの街
ザチルの塔方面
盗賊注意
おお…見たことない文字だが読める…！


もちろん右じゃな
ただ問題はどのくらいで着くかだよな…


1時間後――
うーん街らしきものは見えず…


これで2日とか3日とか1週間とかが必要な距離だったら確実に野垂れ死ぬなぁ
ふー…
食事を必要としない我らと違ってソウジロウは人間じゃからのう
ザ…
ザ…


森に入って狩りをするにしてもうっかり変なものを食べてそのまま
なんてことも十分にあり得るな
そーなんだよね

今のところ体力はあるから進もう
森を避けるように道が続いてる
森はやっぱキケンなんだな
——ム
ソウジロウ走れ悲鳴が聞こえる
え
わか——っ

!?


なんかふわふわして
走りづらい
ふわわっ


もしかしてと思っていたがこの世界は地球よりも若干重力が弱いらしい
よし言う通りに走ってみよ


心持ち前傾姿勢を取り
重心を落とし
地面を足で後方に
投げるように
走ってみよ
おお

走りやすいよ蛍さん

筋がよいな

ダダダダダダッ

言われたことを感覚的に理解し実践できるのは才がある証拠ぞ

照れるなぁ嬉しいよ

でもとりあえず走ってるけど

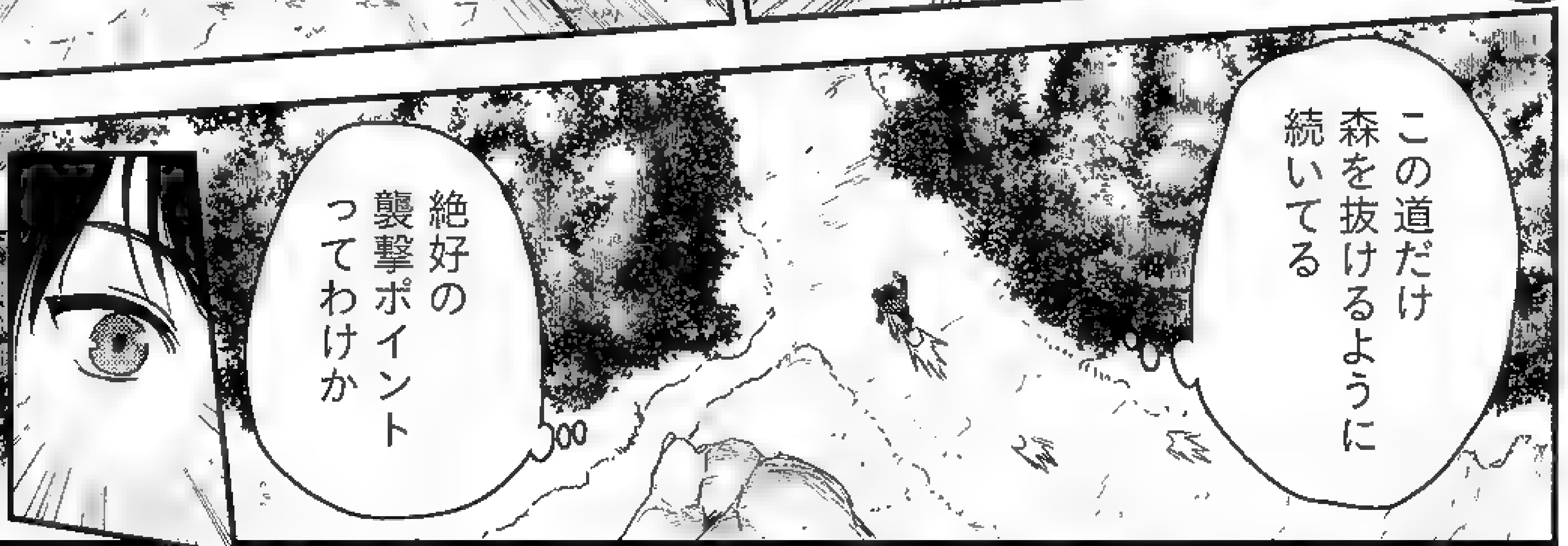
ザザァァ

イキナリ野盗や魔物とかにあって戦闘になったらやばくない？

やばいだろうなだが情報や食料が手に入るやもしれぬぞ

おおそっか


じゃあ
もっと急ぐか
ギュ――ン
そのまま
道なりに行け！
その先を曲がれば
見えてくるはずだ


この道だけ
森を抜けるように
続いてる
絶好の
襲撃ポイント
ってわけか


屈め
ソウジロウ


どうやら
大勢は決している
あの馬車の陰から
近づいて様子を
探った方がよかろう


ズ

早く
契約書を出せ

お前は俺と契約して
俺の専属侍祭に
なるんだよ！

へへっ

お頭

こんな小娘にそんな
値打ちがあるとは
到底思えねぇんですが

ケケケ…

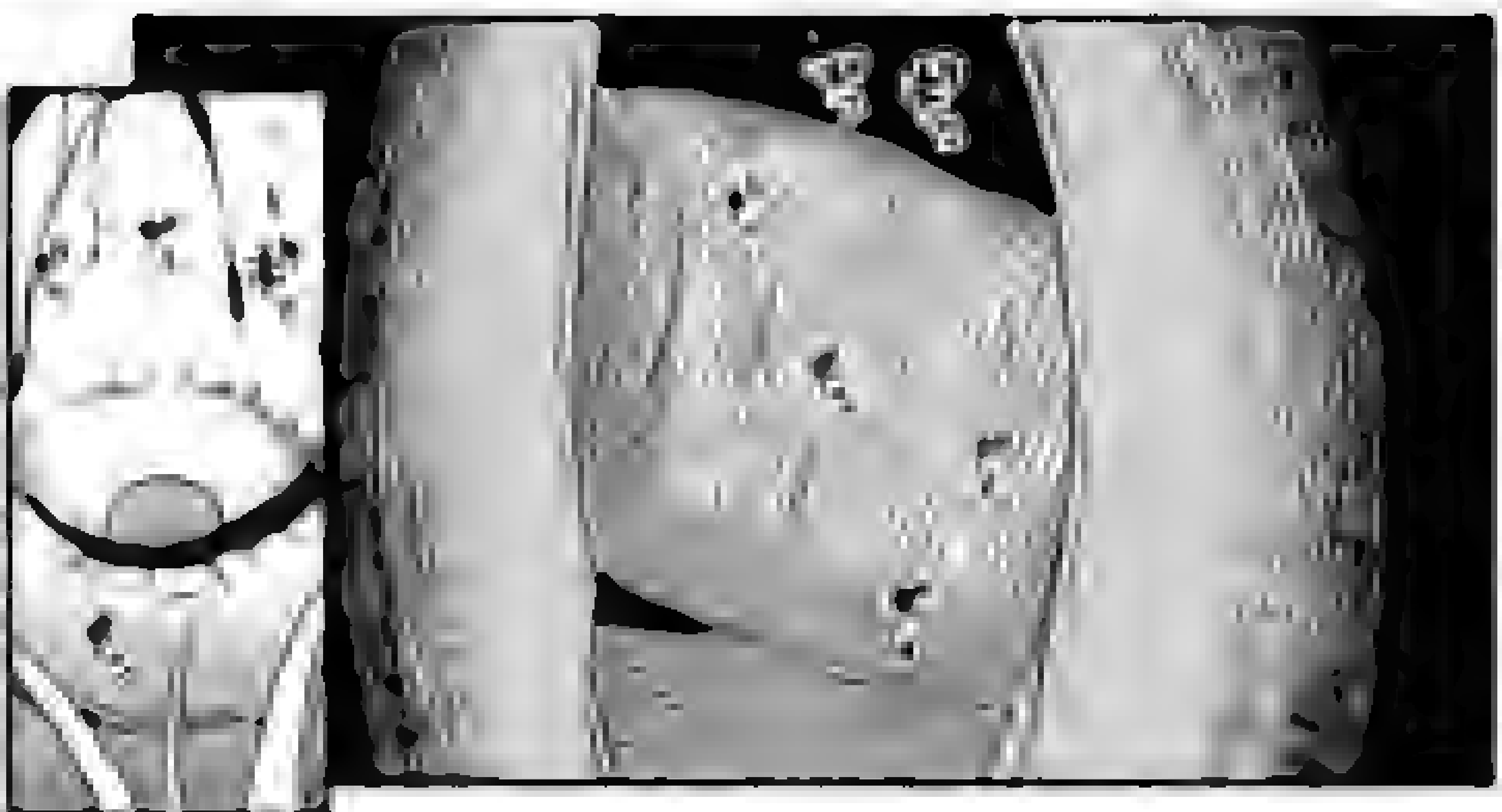
バカヤロウ

迂闊に
近づくんじゃねぇ！

その女は待機だっつってんだろ

ソウジロウ

そこの裂け目から馬車の中をそっと見てみろ




殺気を抑えろ
雑魚でも
気づかれる——

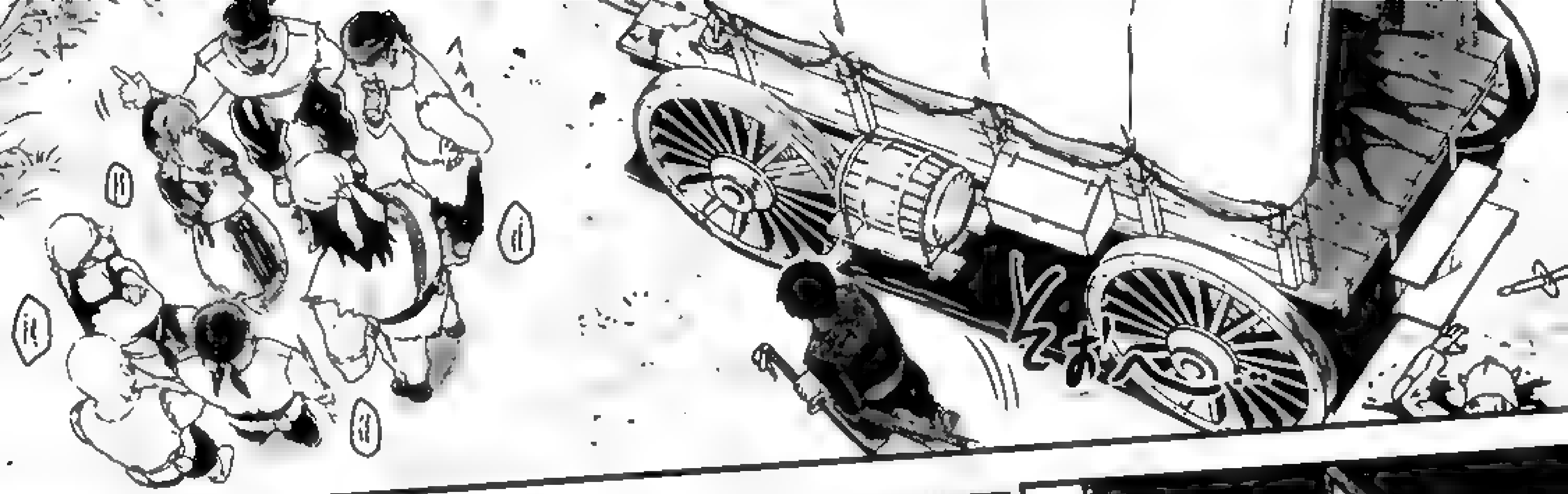

コク
やるのか？
カチャ

ギッ
わかった まずは
馬車の中の男を
一撃で仕留めろ
その後は問答無用で
一気に距離を詰めて
頭目をやれ
ギッ ギッ ギッ ギッ ギッ ギッ
今度は・・・
私がいる
背後の危険は
私が教えてやる
頭へ直接伝えるから
聞き逃すな
ギッ ギッ
まずはこの中の
下衆からやるぞ
構えろ
距離
1メートル強
刃先を少し
下げろ
蛍の刀身
約1メートル
ザ
突きなら2メートルの間合い
そのまま
半歩右へ
よし
いける……
グッ


ぶしゃっ
ああ


ドサ
流石だソウジロウ
ヒュン


心に波ひとつ立てずに殺すとは
行くよ蛍さん
生前に修羅場を経験しただけはある――




そろり…
そろり…


声は上げない…
ありがたい
ダッ…
?!
?


頭ー
がっ
ひぃ
チッ
伏兵!?
ヒュ


チャキッ
桜ちょっと離れるが――

あとで迎えに行く――
シュッ

ギャー!!
ドッ

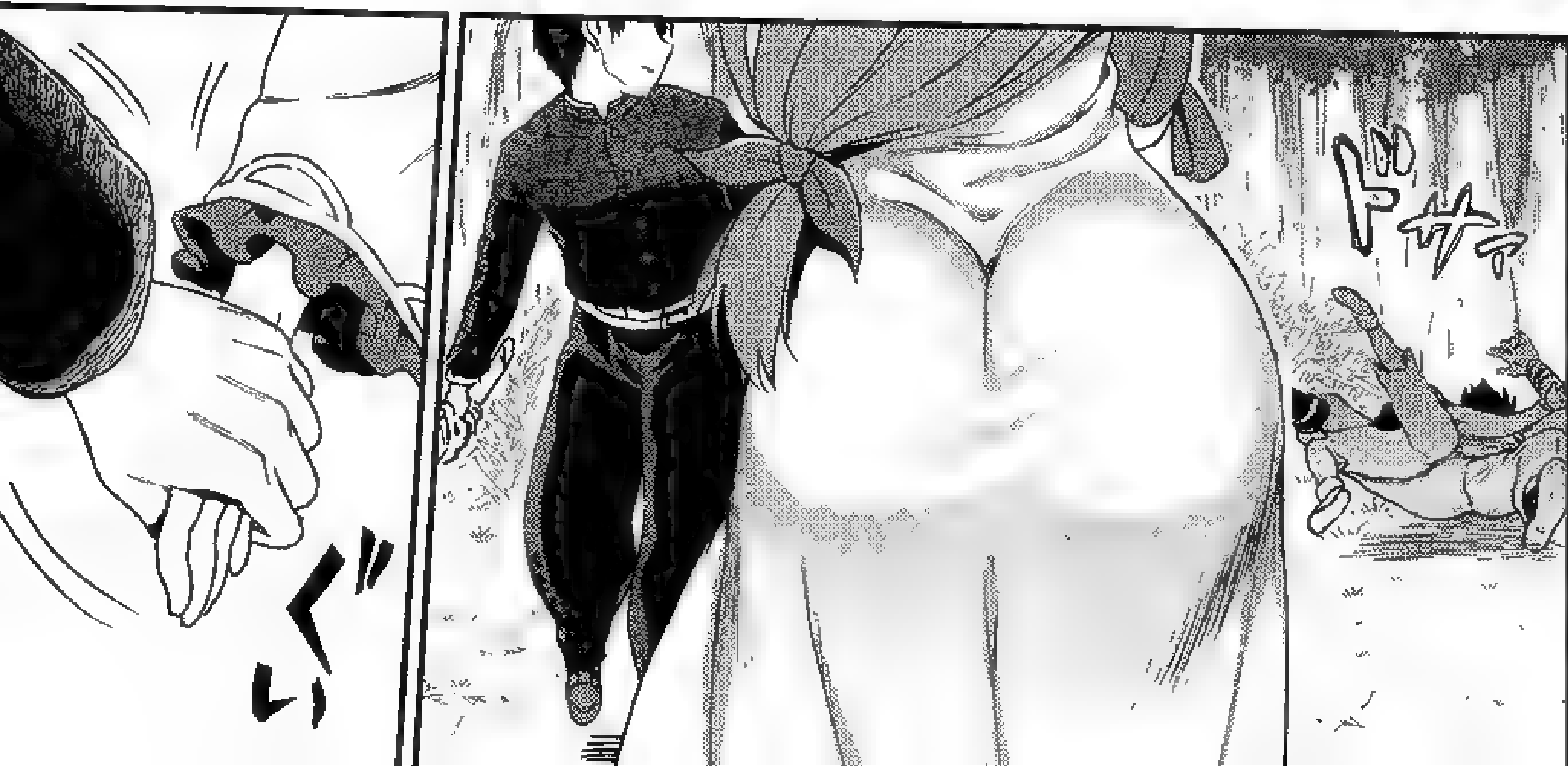
ザシュ

ダ
ナナメうしろ！

こいつっ
くら

ぶしゅっ






チャキ

ジリ…
ジリ…
あと2人
チャキ
第1幕●END




魔剣師の
魔剣による魔剣のための
ハーレムライフ

富士宮総司狼
享年16歳
死因 刺殺

その時
2人の強盗を
ためらいなく
殺している

彼は昔から
少し変わった
ところがあった

02 素晴らしきこの世界

それは幼い時から
心の中にあった

…を殺した
犯人は
無期懲役
となり…

なぜ
殺さない
んだろう?

幼子がするには
あまりにも残酷な
判断だった

悪と感じる「モノ」を
人として見ない——

ソウジロウの
価値観のズレは
日常生活に支障は
なかったが

どこか疎外感を
感じながら
生きていた


くそっ！
せっかくうまく
いってたのに…
頭目が
侍祭なんかに
欲をかかなきゃ


あ…副頭目…
に 逃げましょう…
肩を貸してくだせぇ


ああ 悔しいが
俺たちだけじゃ
あいつに勝てる気が
しれねぇ…
なんとか
逃げねぇとな
ヨロ ヨロ…
は
早く逃げ…


待て待て
普通に逃げたんじゃ
追いつかれるかも
しれねぇだろ
え？

副頭目!!

ダッ

あばよ！
せいぜいあいつらの
足を止めてくれよ！

――なあ

アレ…
生かしておく
必要ある？



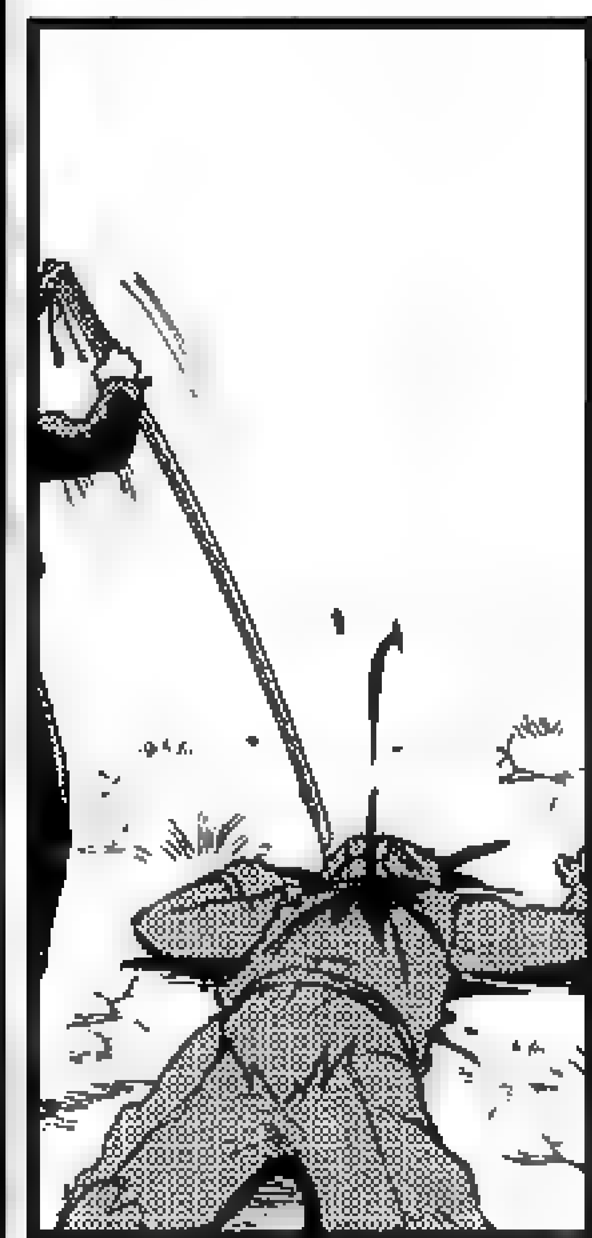


ボッ
ザ
俺らしく生きられる世界


ヒィ
どてっ
ドサッ
チャキッ
あ…た…
たすけ…


こう言ってるけど？


奥様や旦那様が『命だけは助けてくれ』と嘆願した時
あなた方は まったく聞く耳を持ちませんでしたが？




あ

蛍さん
大丈夫だった？
うむ 見事だったぞ
ソウジロウ
初陣にしては
及第点だ

パァァ
マジで！
ありがとう蛍さん
おかげで
安心して戦えたよ

気にするな
それよりも早く
桜を拾ってきてやれ
ヘソを曲げられる前にな
そうだった
桜ちゃんも
頑張って
くれたんだった
ぎゅ
……
じっ

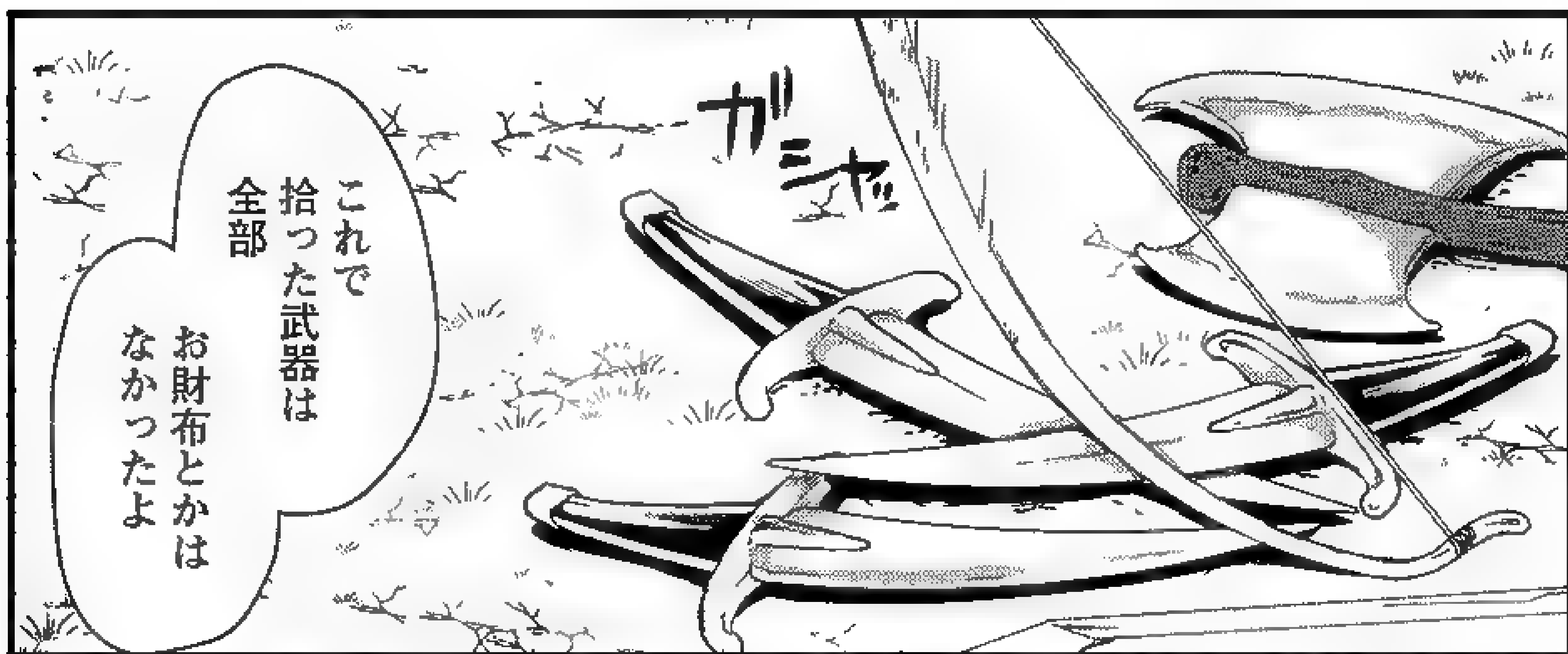

な…何かな？
刀と喋ってたのおかしかった？
…盗賊の武器を拾いに行かれるのですよね…？


？いや
合わせておけ
う…うん


賊の武器なんてどうするんだ？
ガサ
売るのかな？
ガサガサ


あ いたいた 桜ちゃん


こんな汚いモノに刺してごめんよぉ寂しかったかー？
すーり すーり
お前というヤツは…まったく


ガシャッ
これで拾った武器は全部
お財布とかはなかったよ


でも これどうするの？
君が使うの？そんなわけないか
……


やはり…
なんとなく…もしかして知らないのではと思ったのですが


武器は所有者登録をしないと本来の性能を発揮できません
登録
未登録
鉄のかたまり…
武器は身分証であり
その人の証明
犯罪者の武器は報奨金と引き換えられます
買い取るよ

なるほど！
つまり
装備しないと
意味がない！
ってヤツだね

？

？

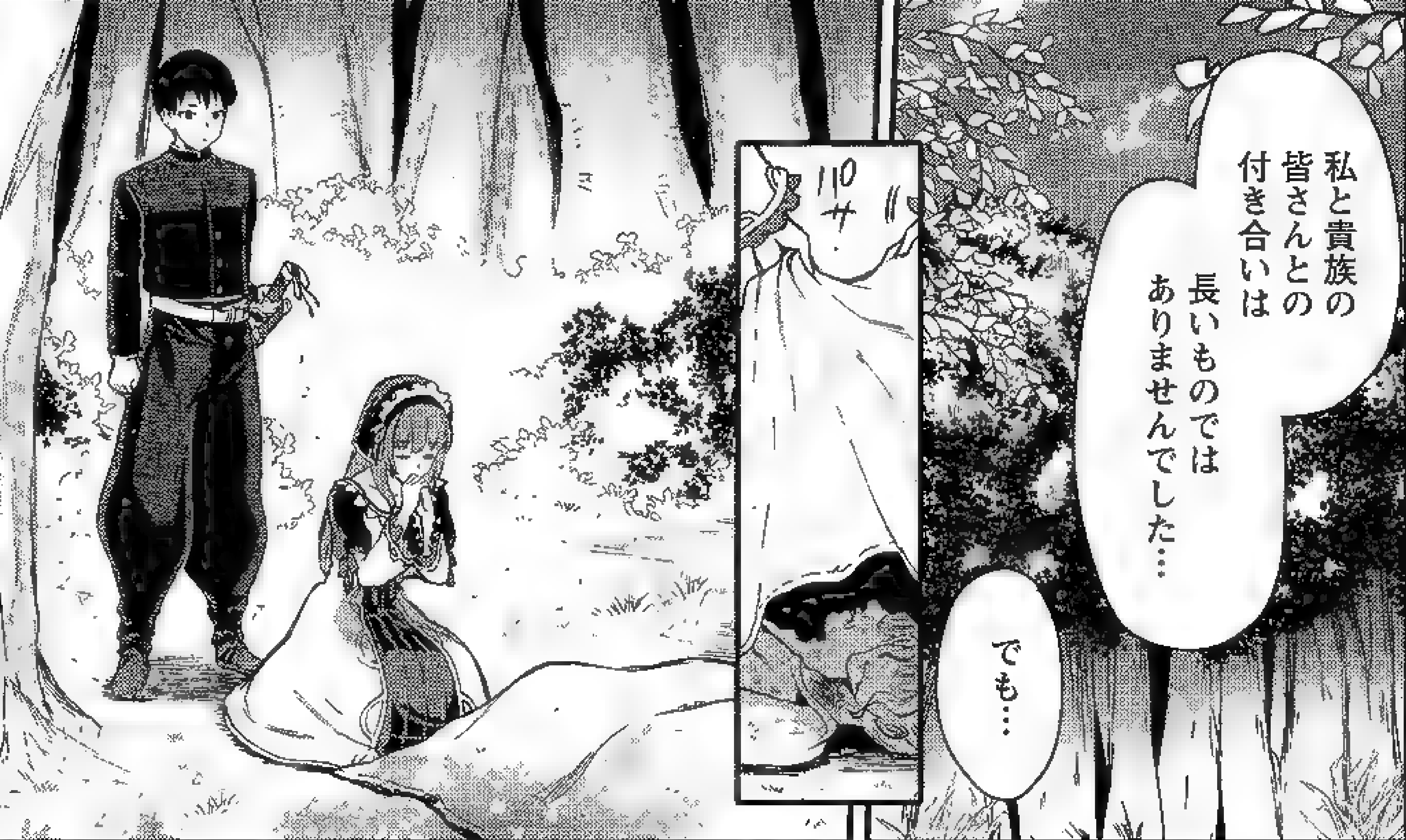
とりあえず
早めにこの場を
離れましょう 血の臭いに魔物が
寄ってくるのも
時間の問題ですから

あやっぱり
いるんだ 魔物

それと…
申し遅れました

私は
システィナ
といいます

危ないところを
助けていただき
ありがとう
ございました


私と貴族の皆さんとの付き合いは長いものではありませんでした…
バサ
でも…

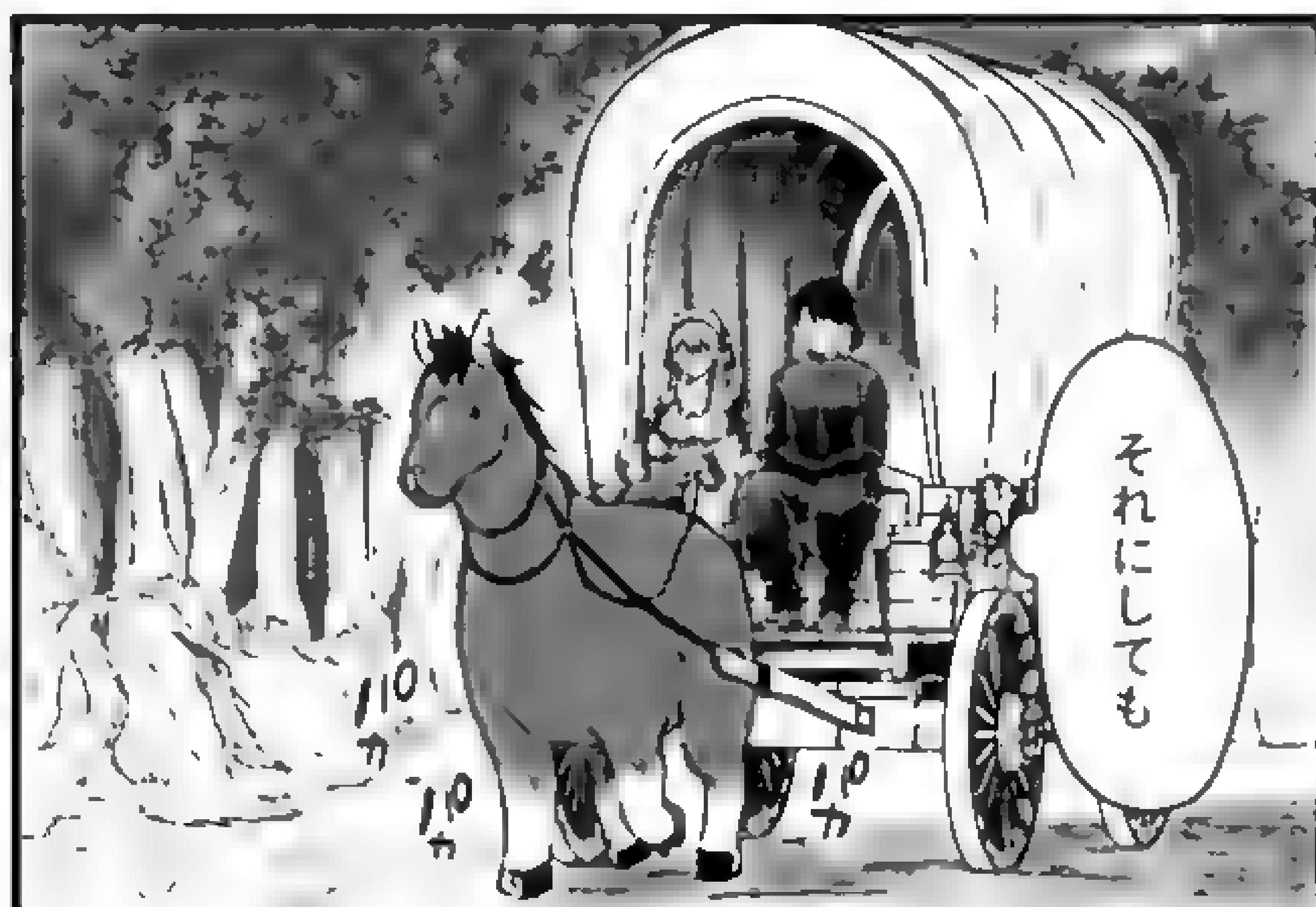

ごめん
俺がもっと早くに着いていれば…
何をおっしゃいます


あなたが来てくれたからこそ私はこうして生き残り
彼らの遺品を残された家族に届けてあげることができるのですから
チャリ…

……ああ…遺品が
還ってくることすら
少ない世界なのか

このまま
ミカレナの街へ
向かいましょう
そこが一
近いので…

うん



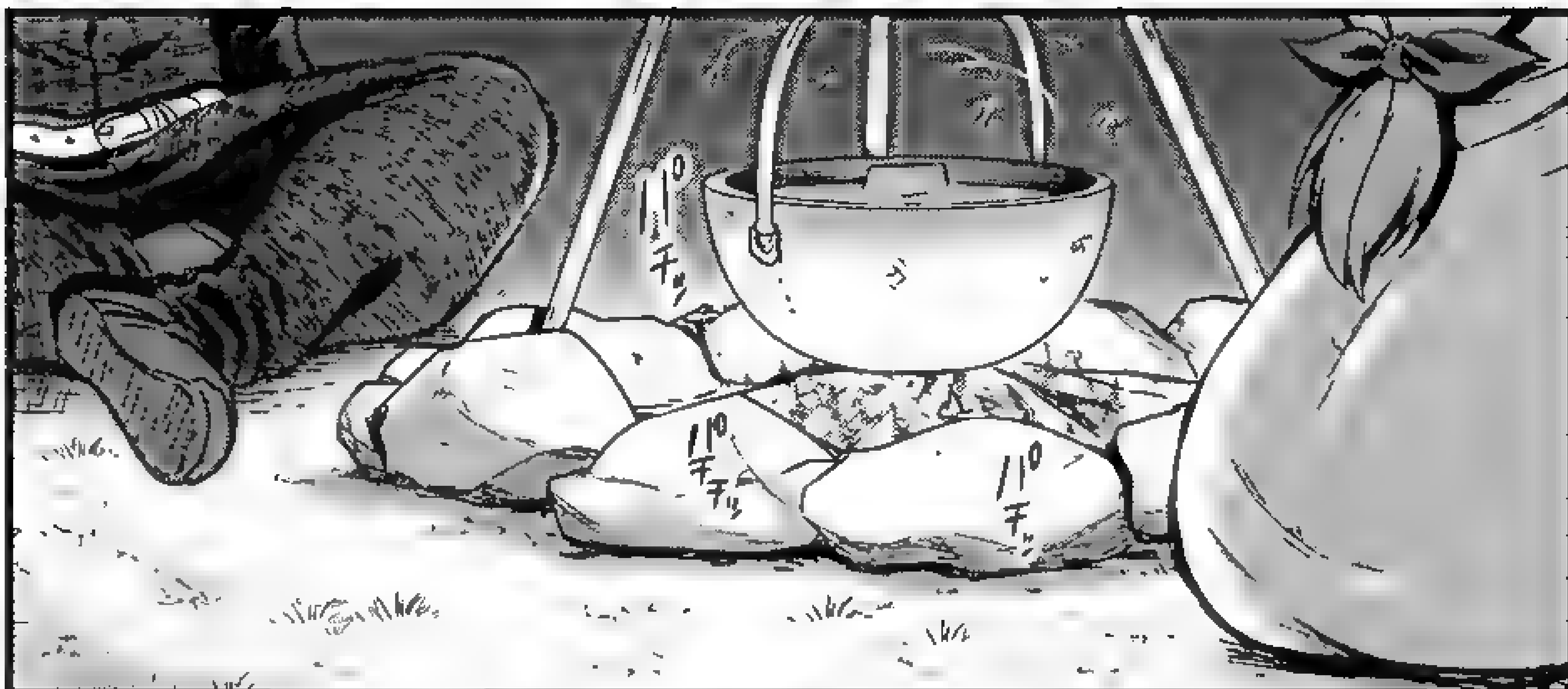
綺麗な子だな――

クイ クイッ


なんで綺麗な双子山…
ばいん



今日はここで野宿にしましょう


パチッ
パチッ
パチッ


はい
ありあわせ
ですが
ホカ
ホカ


食事か…
日本では家政婦が
作ってくれてたな


なんか…
久々の食事だ
くぴっ


「変わった子」
あったから
「血女だ」
ポタ…


すみません
泣くほど
不味かったですか？
ポロ
ポロ
え
ポロ
違う…これは違うんだ
…初めてだったから…
ぐしっ
こんなに美味しく
感じられた食事は
初めてだったんだ

ありがとう





この世界のことを

第2話●END


魔剣師の
魔剣による魔剣のための
ハーレムライフ

第03幕 出会い



全部とは言っても…何をどう話せば

だよね…じゃあ自己紹介お互いのことももっと知り合おう…なんて

そうですねまずは身元を証明いたします

「顕出」









システィナ　業　-38
年齢：　16
職：　侍祭(未)
技能：　家事　料理　育児　契約
護身術　護衛術　回復術　交渉術
房中術
特殊技能：　叡智の書

メイドスキルたっけぇーー！
ピク
『房中術』…？
え…たしか夜のお布団の中での技…

えっ? えっ? え!

うおっ

シュンッ

きゃあああああ!

なななんで!

なんで 暗号化してある場所まで普通に読んでるんですか!

かあああ〜

もじっ もじ もじっ

てへ

ごめん 読めちゃった

まがりなりにも神の能力ってわけか…

なんでも『読解』できちゃうのね


私にも窓を見せてもらってよろしいですか
はぁ〜…3


いいけどどうやってやればいいか教えてくれる？


知らないんですか？
うん


……わかりました

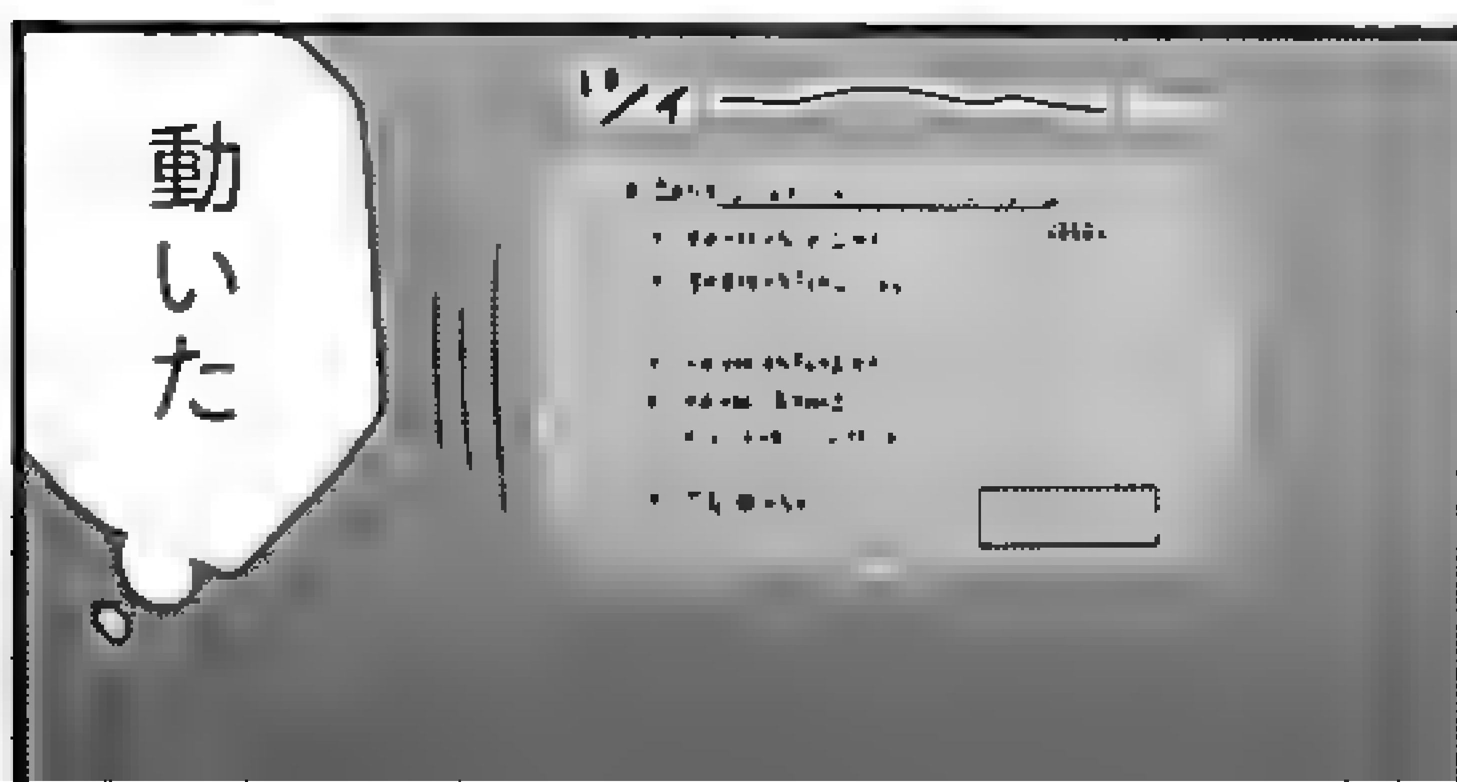

自分の内に意識を向けて
『顕出』と唱えてください


『顕出』

富士宮 総司狼
年齢：17
職：魔剣師
技能：言語 読解 簡易鑑定
武具鑑定 手入れ
添加錬成 精気錬成
特殊技能：魔精変換
おお…本当に出た！















フジノミヤ
ソウジロウ
ソウジロウが名前

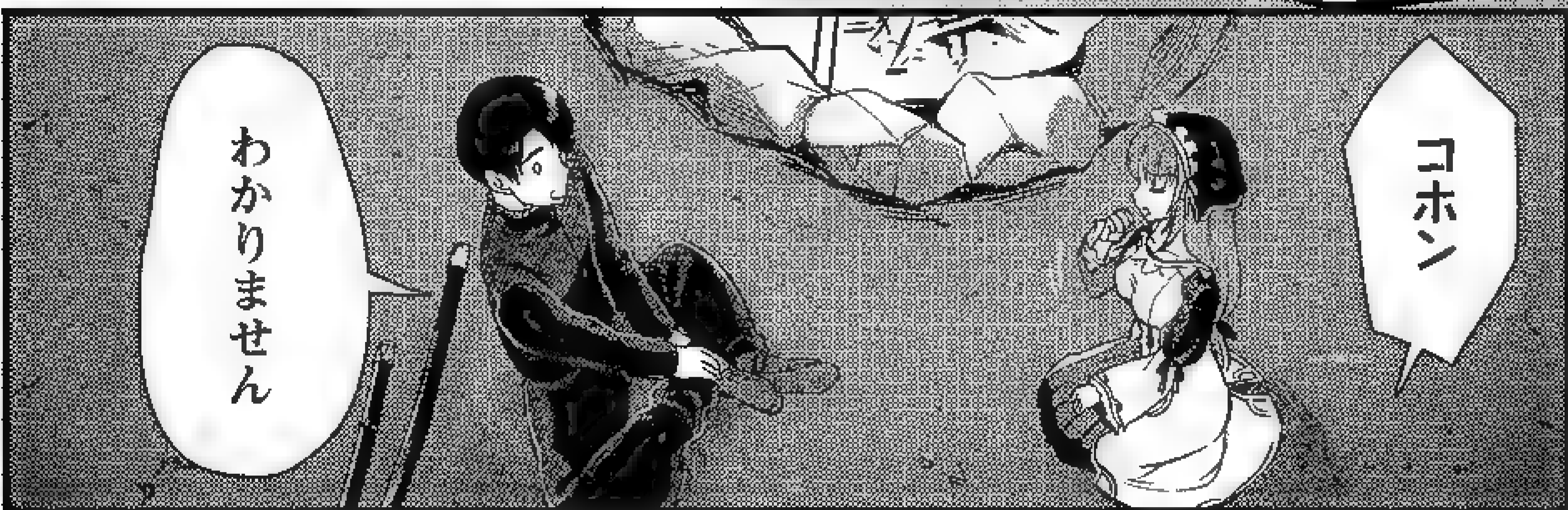
ソウジロウ様
侍祭という職はご存知でしょうか？


侍祭…司祭と
言葉の雰囲気は
似てるけど…
システィナが持ってる
技能的にも どんな人たち
なのかわかりづらいな


そして
『房中術』


…あんな清楚そうな
システィナが


夜は……


コホン
わかりません

では説明させていただきます

システィナの説明はわかりやすいけど長かった…

パチ

パチ

なので俺的知識で端的に言えば

神殿で英才教育を受けた戦うメイドさん的なもの…らしい

私は侍祭のなかでも

『回復術』『護衛術』『交渉術』

全てをマスターした聖侍祭にあたります

聖侍祭になった時にEXスキルとして特殊技能を授かりました

これが…かなり重要なスキルでして…

隠しておきたかったんです本当は

それを俺が見ちゃったってわけか…

更に侍祭が特別視されているのは『契約』スキルにあります

侍祭は『契約』を交わした相手の命令を履行しないと

その身に重い罰則が科せられます

その見返りに

格段に能力が向上し戦うこともできます

強大な その力は『契約』しないと発揮されないのか…

奥様と旦那様は神殿に多額の寄付をして

私とご子息を契約させるつもりだったのです

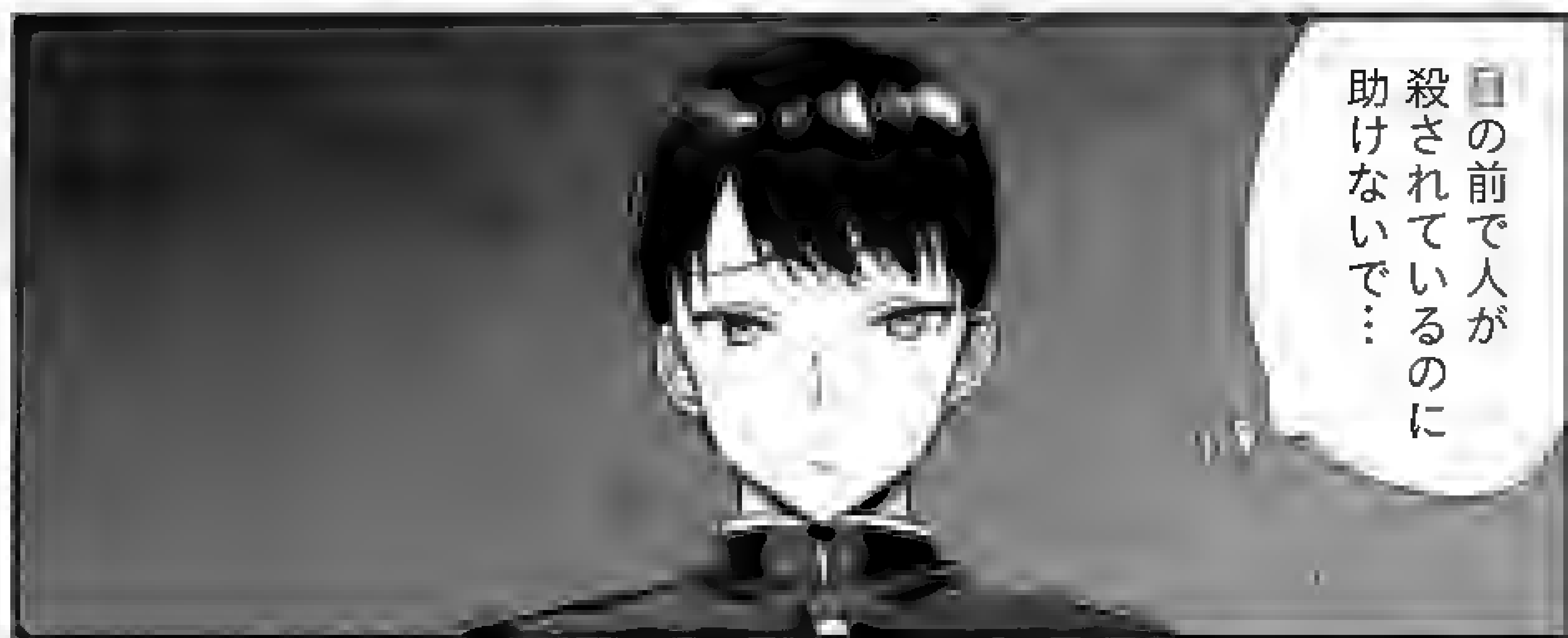
…なので私は誰とも契約をしていない状態でした

だからあの時

『契約』をしていない私は襲い掛かってくる盗賊を自衛のために倒すのならともかく

誰かを助けるために自らの力を振るうことができなかったのです…！


確かにあの時
システィナだけは
完全に傍観だったな


目の前で人が
殺されているのに
助けないで…


ソウジロウ様の
言いたいことは
わかります
侍祭はそれでも
動けないのです

「侍祭は契約によってのみ職を行いその力を行使す」
この掟を破れば侍祭としての力を失ってしまいます
…そして力を失ってしまえば
結局は誰も助けられないのです
――ッ
システィナ…









私の特殊技能を
見てしまいましたよね

ずいっ

えっと
房…

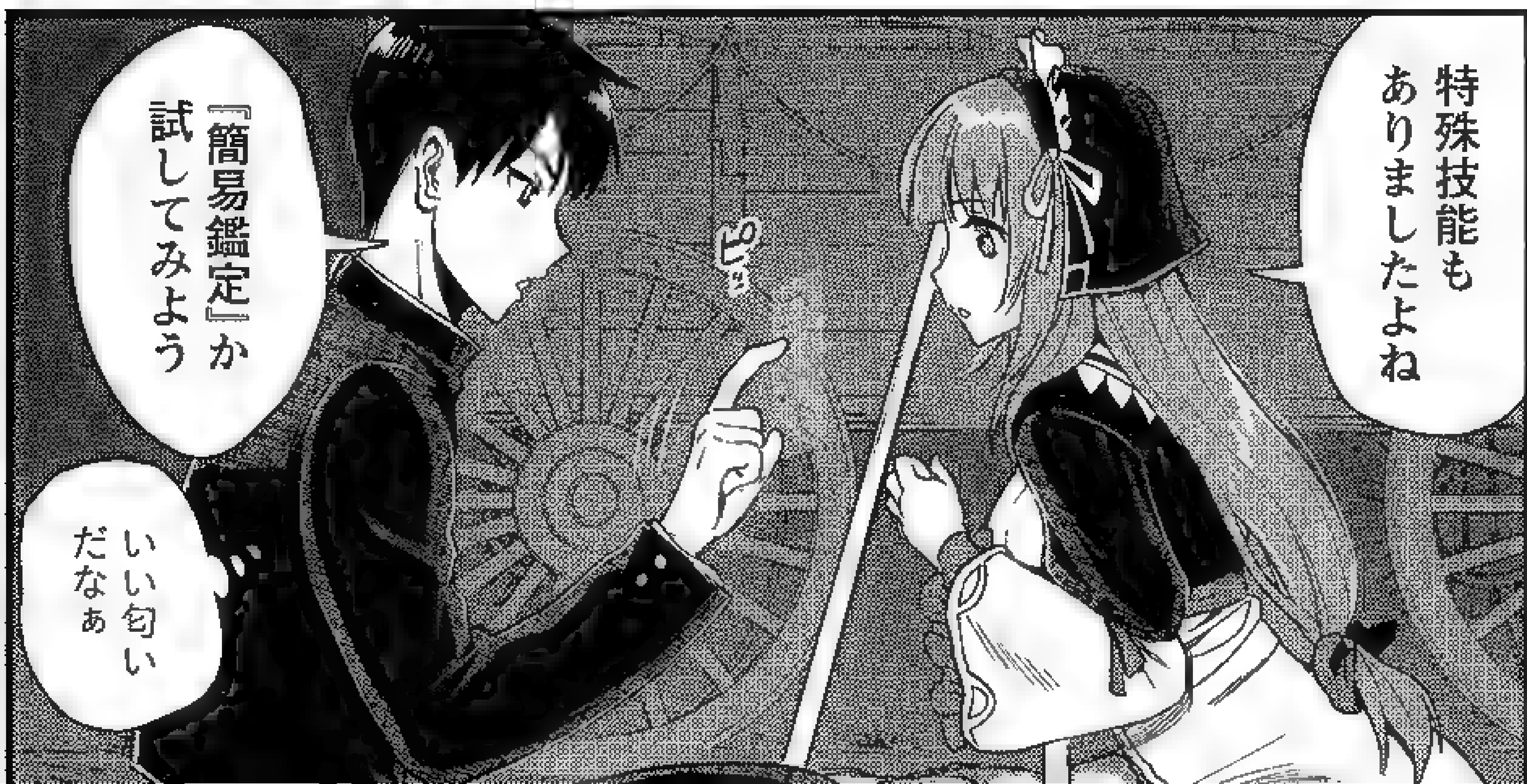
『叡智の書』
です

『房中術』


これは知ろうと思えばその知識が与えられるというものです


単語を調べる程度なら ほぼ完全な知識を得られます


魔法と剣を使うぜ!!
普通であれば魔・剣士なんですが
???
ソウジロウ様の場合魔剣・師ですね
鍛冶屋などの職にみられる技能がありましたし


特殊技能もありましたよね
ピッ
『簡易鑑定』か試してみよう
いい匂いだなぁ





この『武具鑑定』は
使用してみました？

い…いや
試してみる

『武具鑑定』『蛍丸』

蛍丸
ランク…S＋
錬成値（最大）
吸精値 0

技能…
共感・意思疎通・擬人化
気配察知・殺気感知
刀術・身体強化（人化時）
攻撃補正・武具修復・光魔法

蛍さん
スペック高ぇ！
チート級！

すごい
S＋！
…神器級ですか

しかも『叡智の書』に
反応がない…？

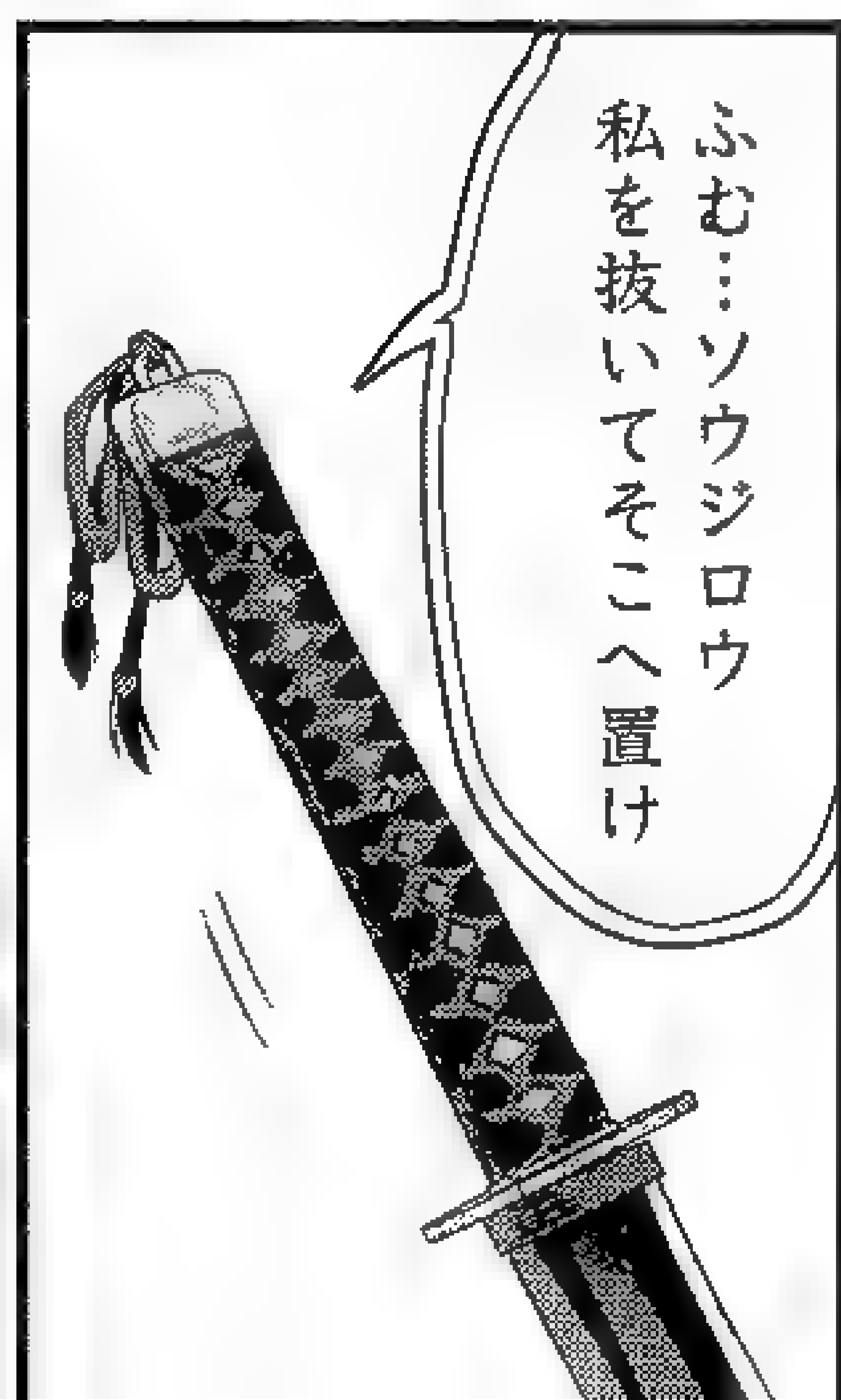
桜
ランク…D＋
錬成値 47
吸精値 33

技能… 共感・気配察知
敏捷補正・命中補正
魔力補正

うん！
桜ちゃんも
なかなか


吸精値とはなんでしょう？
そんなことよりも大切なステータスがあるよ！


『擬人化』！
『擬人化』してみよう蛍さん！
チャキッ


ふむ…ソウジロウ私を抜いてそこへ置け


よしやってみよう


いくぞ…『擬人化』



これが人か
ほう…これは面白い


な…凄い…
本当に武器が
人になるなんて
よっしゃぁぁぁぁぁぁ!


!
とりあえず
着るものを
コホン
はっ
いらん
ソウジロウ
私の鞘をよこせ

鞘?

わっ

ブわ


おおお！
こんなものか
さて…ソウジロウ

うぶ！

ばっ

ふむ…これが
ソウジロウなのだな…
温かい柔らかい…

うん
人の体というのは
なんともよいものだな





何を言ってるソウジロウ

本当の
男女の触れ合いを
これからするんだぞ



第3幕●END




魔剣師の
魔剣による魔剣のための
ハーレムライフ


対面の時

本当の男女の触れ合いを――!?



言葉だけでこんなになってるようでは思いやられるな

はっ

勘弁してよ蛍さーん




ソウジロウ様


明日…
大切な話をする
――かもしれません


ずいぶん 曖昧だね
今できない話？
はい


決心が
定まらず…
一晩考えたくて
わかった





まさか今夜で
お別れとか!?

そんなの
嫌だ――!

どうした?
ソウシロウ





そっ…

眠れないのか?

ん…ちょっとね



お前が死んでこの世界に飛ばされ――
そして野盗との一件だ…
何人殺った…？元の世界と合わせて
数えてないよ
あんなのモノでしかないから

元の世界では
正当防衛とはいえ
2人殺した……
その中の1人……
最期に殺したのは
実の父親だぞ？
――ああ
確かにあれは
俺の父だった
モノだけど
金に困って
別れた嫁の実家を
強盗した挙句
息子を刺すような
生き物に
何を
感じろと


それで斬ったのか
うんそうしないと


奪われていただろうから


刀(きみ)たちが――

そうか

そうか…っ

そうだ
添い寝を
してやろう

えっ

見張りのことなら
大丈夫
静かなものだ

そうじゃ
なくて！

——!!

嫌じゃないみたいだな
嫌じゃないのが困るというか!






そうだね
毎晩こうやって
抱きしめて寝てた


蛍さん——
俺の体温
懐かしい？
ああ


体温も鼓動も
感じておったぞ
チュ
ドキン!!

——んっ
あ…
ああ——

おや
ムニィ
ビク
あつい
こんなに熱いトコロもあるのだな――
ムニッ
ムニッ
ムニッ
んっあっ
ハァ…ハァ
ソウジロウ
しーっ
はっはぁ はぁ
――っ

たぷんっ

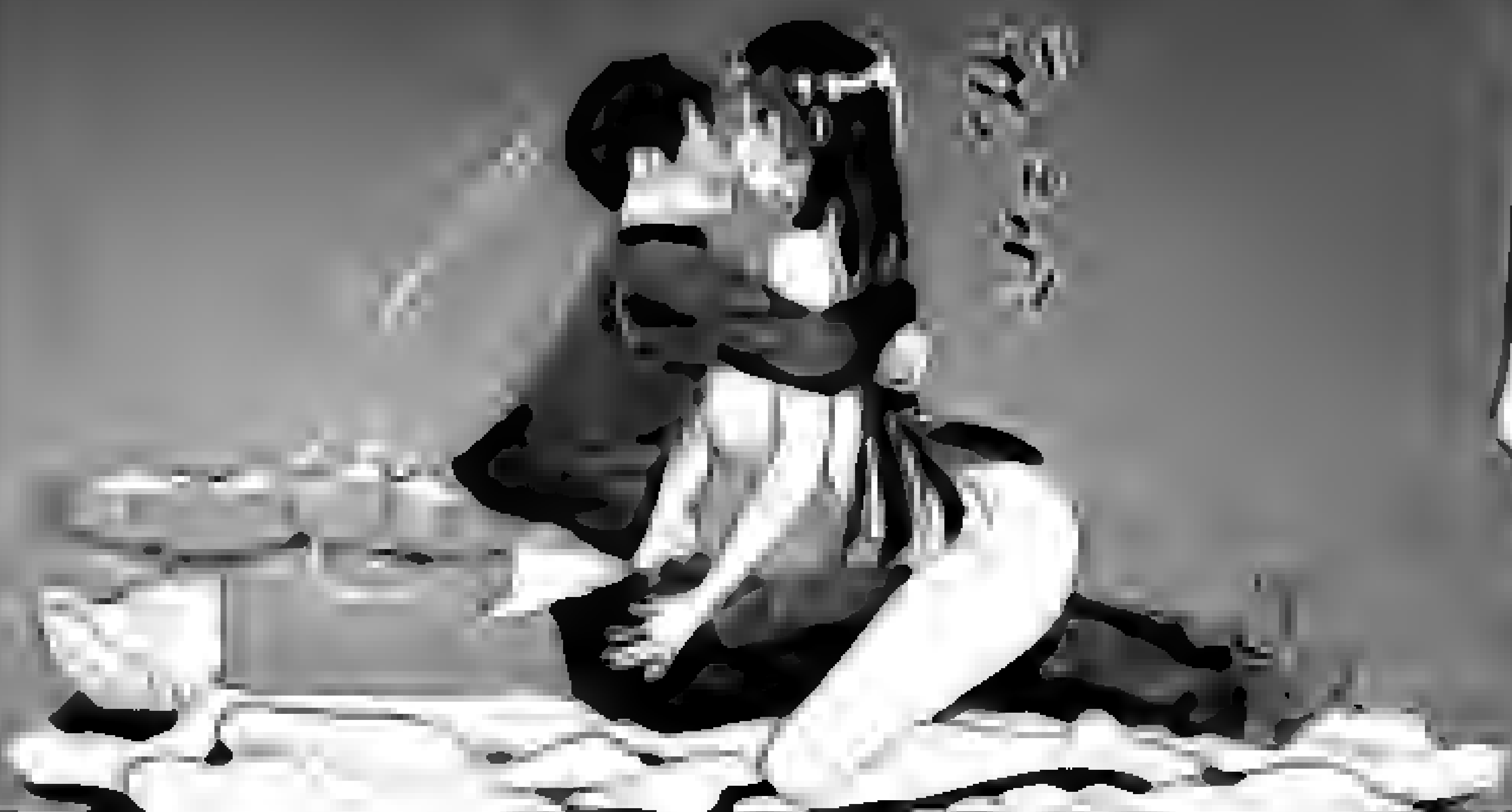
たぷ



ああ

そうだな


来い ソウジロウ
全て受け止めて やろう——


蛍さん――


愛おしい
愛おしい


愛おしい

――っ 蛍さん
すご…濡れて…
かぁぁ…っ♥
お前が
そうさせたんだ
蛍さん――
〰〰〰んっ
あっ…

この世界には覚悟がいる







面白い男だ
ソウジロウ――

そう
思うだろう？

システィナ
とやら

ビクッ

――
!?


ソウジロウはずっと
感じていたのだ
孤独に…ずっと…
悪に対する感覚が
他者とは違うとな
だから必要があった
全てを認めてもらう
世界――


全てを受け入れる
相手が――な


蛍さんは
凄いです
――でも

私も……



私だって…



もう一人の覚悟も

定まったようだな

おはよう

おはようございます

水を汲んでおきました

ありがとう

じっ

……

…何？

はい 私と

『契約』してください

第4幕●END




魔剣師の
魔剣による魔剣のための
ハーレムライフ

第05幕 運命の契約

聖侍祭
システィナ様っっ
お願いします!!

我が家の財産
全てを差し上げます

私の息子と
契約して
ください

何度も来られては
困ります公爵

おねがいします!

お顔
をあげてください

おねがいします!

わかりました
契約いたしましょう

俺と契約？


何マヌケな顔をしているソウジロウ
蛍さん
イチャ
イチャ


モン…
モン…


えっと…なんで？…かな
理由を聞いても？
コホン
理由は——


運命・・・
モジ‥
だからです

旦那様と奥様が神殿にいらっしゃらなければ 私は

おねがいします！

おねがいしますぅ！

まだ神殿内で修業にあけくれていたはずです

そうしたら旦那様がたは死なずにすんだはずで

当然ソウジロウ様に助けられることもなかったでしょう

ですが実際は旦那様がたは神殿にいらして私を連れだしそれを見ていた盗賊が襲撃して旦那様がたは亡くなって…

無理矢理契約を迫られ盗賊と契約を結ばされていたかもしれないところを


ソウジロウ様に
助けられた


ソウジロウ様は
この世界のことを
教えてくれ と
おっしゃいました
私には叡智の書の
知識があります
……

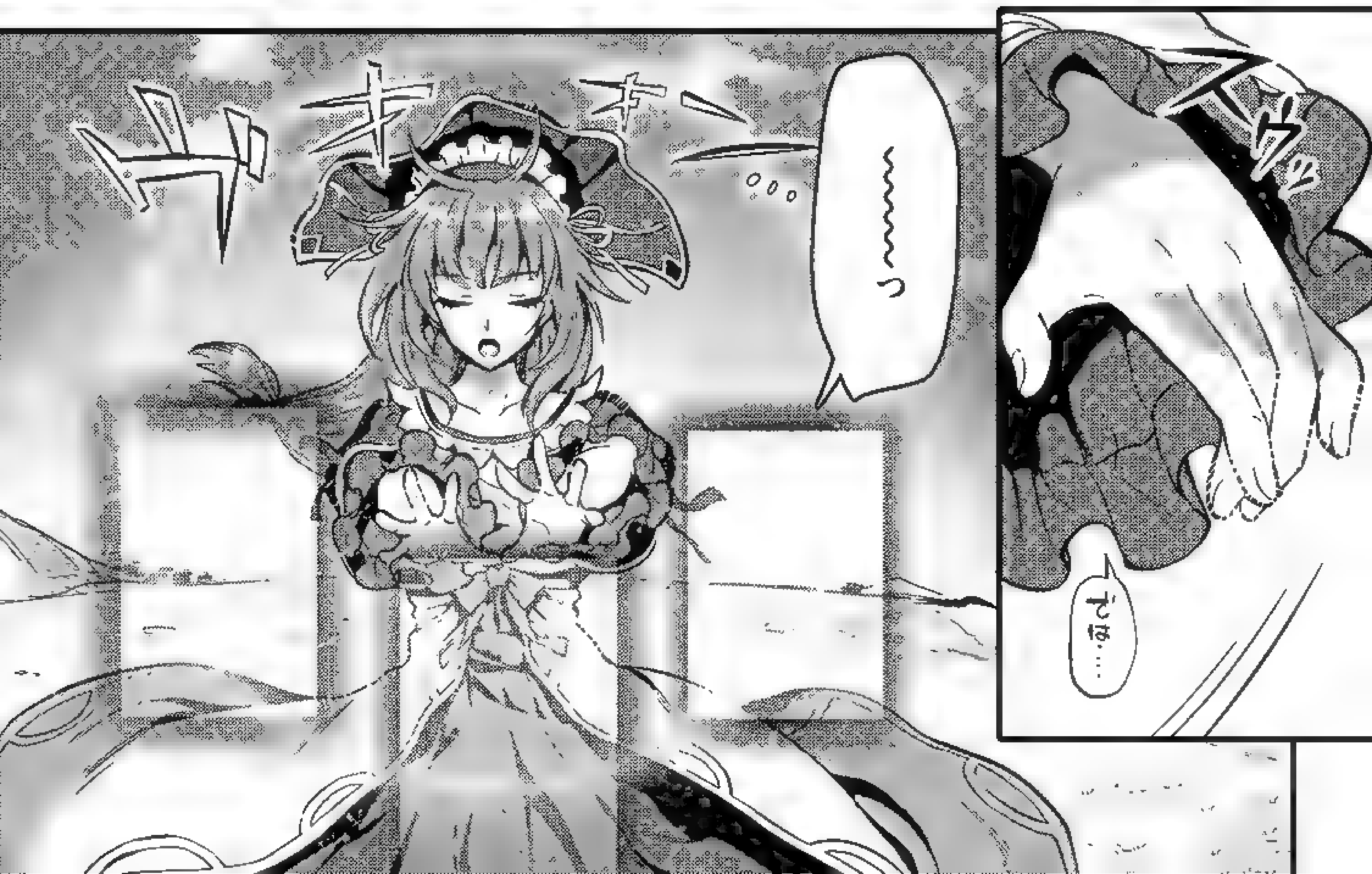

それにっ
それに——
もう……
あんな思いは
嫌なんですっ
力があるのに
守りたい人を
守れないのは…
うん

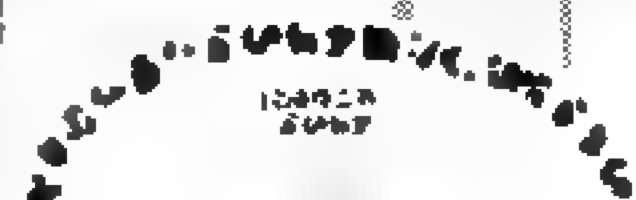
システィナ…さん
これからも
よろしくお願いします

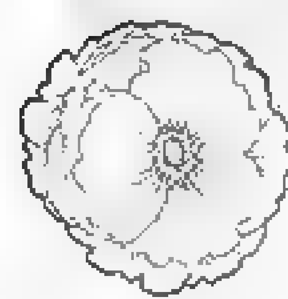
契約して
ください

!!

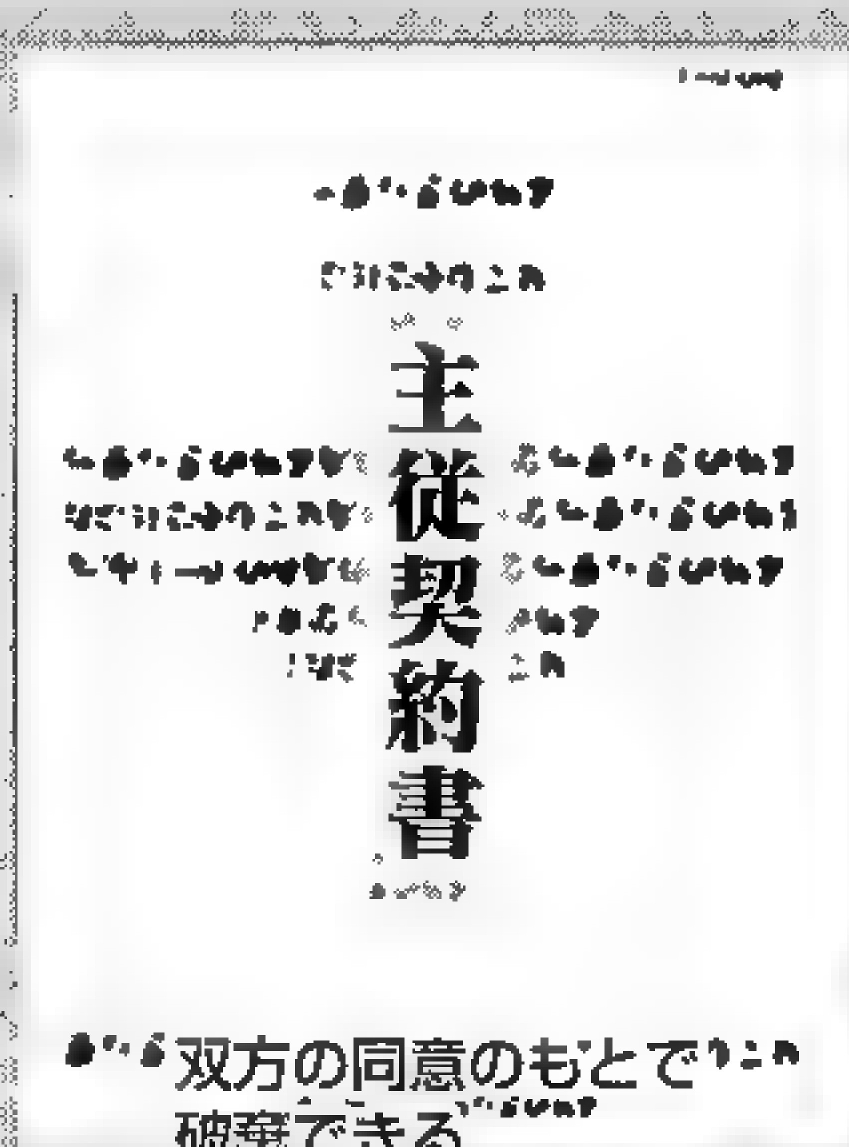
ありがとう
ございます




ポワ～ン




雇用契約書
契約違反は
侍祭が一方的に
破棄できる
能力上昇ランク C


主従契約書
双方の同意のもとで
破棄できる
能力上昇ランク B


オオーオオ…
従属契約書
主側のみ破棄
できる
能力上昇ランク A


契約は
雇用
主従
従属の順に
重くなります
制約が重い契約を
交わすほど侍祭の
能力は底上げされます


雇用契約は侍祭側が
本契約前のお試しで
使うことが多く
一般的なのは
主従契約の内容に
特例として対価の項目を
別契約で盛り込む方法です

この従属ってヤツの色は凄いね 禍々しいというか
従属はひとことで申しますと
絶対服従の契約です
絶対
服従





そんな気は
してたけど
はふぅ
システィナ
ヴォン
すっ
え


上書きアンド
書き換えっ


主の命令に絶対服従
に加え!!
ひとつにつき1回の拒否権アリ
スラスラスラスラ
パラ
パラパラ…


侍祭としての力は その主のためにのみ行使する 違反せし時は その力を失う——
カキ カキ
スラ スラ
こっから先は
削除っ
オロ オロ

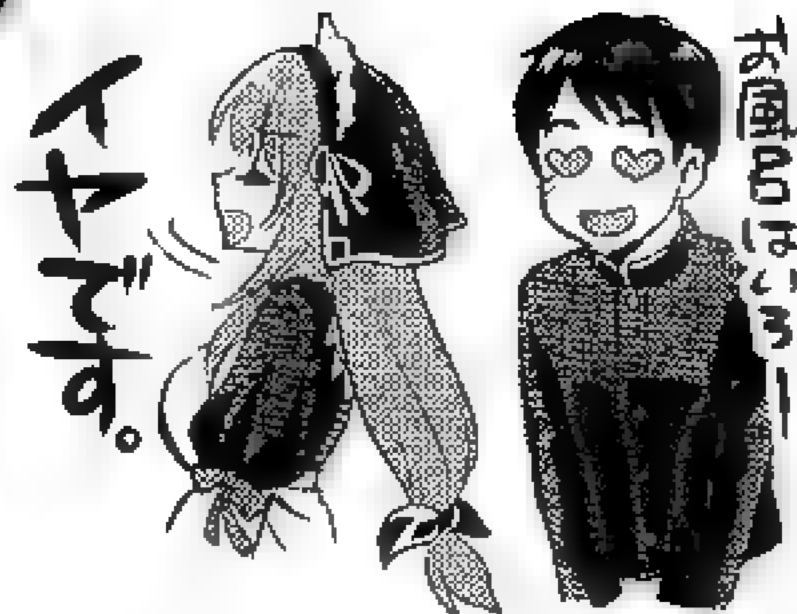
力は原則
主のためにのみ
行使するか――

聖侍祭システィナが
必要と認めた時のみ

自身の正義と
責任においてその力を
行使することを認める

これでどう
システィナ

これで





ができるっ

なんでっ

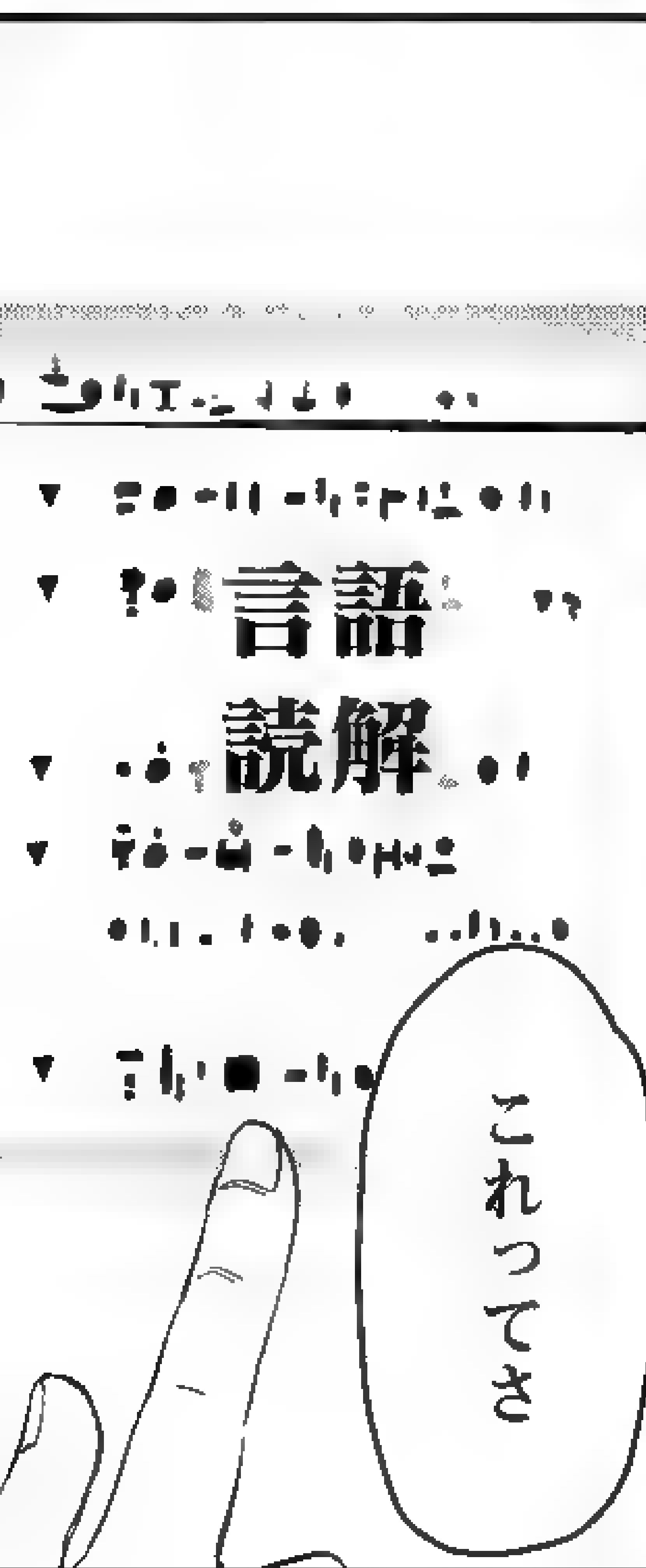





そんな風に思って
くれてたんだ


カァァ
ありがとう


書き換えについては
俺の技能見たら
わかると思うんだけど


言語
読解
これってさ

ありとあらゆる言語で会話ができ――

ポリポリ

ありとあらゆる「読み」「書き」ができるってことなんだと思うんだよね



あはははは

あなたって人は本当に

私はこの人と出会うために
侍女として修業して
いたのかもしれない

侍祭の修業は厳しく

幼少のころから毎日……

魔法 武術 炊事 洗濯 勉強etc 全てを完璧にこなす




カッ
侍祭
システィナは
フジノミヤ ソウジロウ
を主と認める


契約
パアァァァァ


終わりました
ソウジロウ様


これからあなたの
侍祭として 仕え
させていただきます


あ…ああ
よろしく


なんだ
ソウジロウ
もっと嬉しそうな
顔はできんのか
だって


蛍さんがいて


桜がいて


システィナとも
出会えて

こんな幸運に
恵まれるなんて
この先悪いことが
起きそうで心配だ
くすっ
ソウジロウ
それはきっとな
お前がこの世界に
祝福されて
いるのだ
そう
思っておけ


そっか…うん
そうだな


本当に何も
知らない俺だけど
よろしく
ぎゅっ
はい
お任せください


なんかいいな
こーゆーの
こやつ
調子にのっとるな
うむ これからは
俺をご主人様と
呼ぶがいい


はい
ご主人様
ノータイムで
返してきた



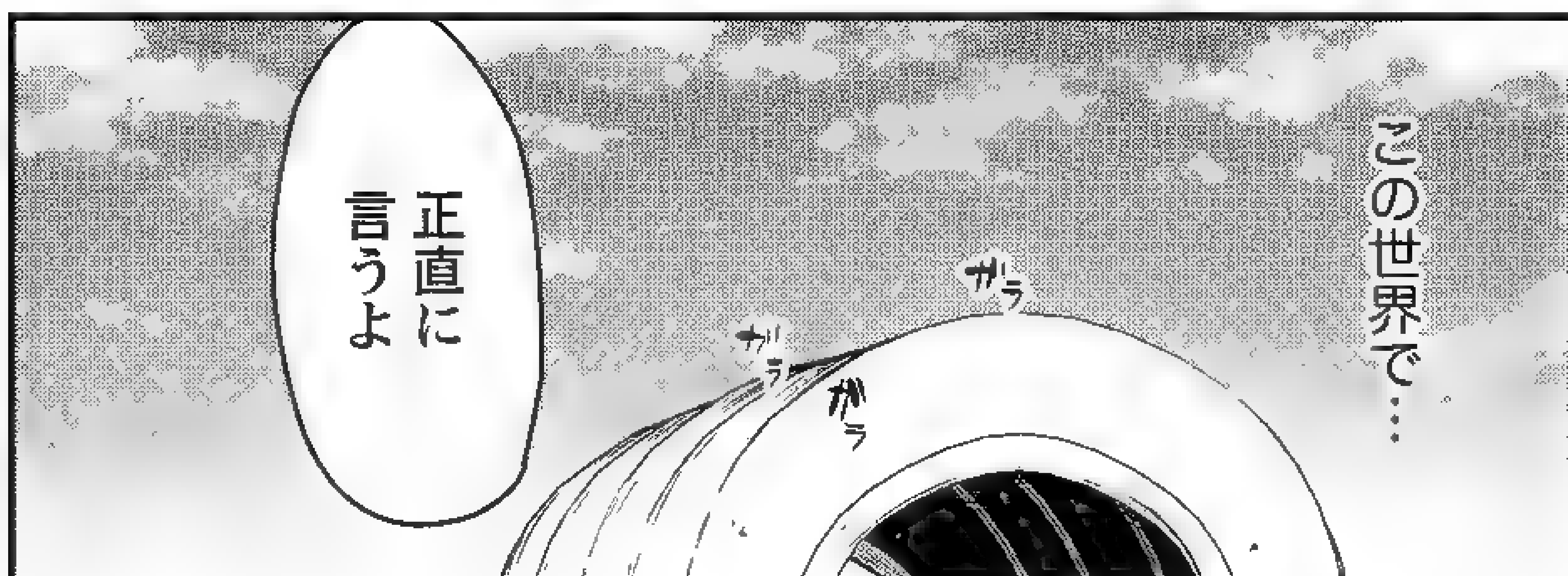


いっいいよ呼び方なんてどうでも話し方も敬語でなくていいし

はいご主人様

ご主人様…
これから何をしていくか…
目的…みたいなものはありますか
パカ
パカ
パカ





俺には特に目的はないんだ
どっかで落ち着いて日々暮らしてくだけのお金を稼いで
自分らしく生きられればそれでいい
そこに君が一緒にいてくれたらもっといいけど…



それは
裏を返せば——
どんな目的でも設定できるということです
にこっ
あなたはこれから何者にでもなれるのですね
か…買いかぶりすぎだよ
あ 街が見えてきました
えっ

●第②巻につづく




魔剣師の
魔剣による魔剣のための
ハーレムライフ

――ッ
――蛍さん
すご…濡れて
お前がそう
させたんだ
特別描き下ろし
精錬の夜
俺…優しく
できないかも
ソウジロウ
いいで
私がすべて
受け止めてやる



胸の鼓動が早くなる

んっ

ああ——これが
ひとつになると
いうこと——
はっ…
はじめて
逢った時
お前は
キラキラした
瞳で
私をじっと
みつめていた
んっ
んはっ
嬉しかった
嬉しかった
むにゅ
もにゅ
むにっ
あん
あの幼子が
こんなに
立派になって
ずちゅ
あっ
ああ
ずっ
ずっ
ずっ
ぴく…

私を――
あっ
あ
あ
ひとりの女として抱いている
なんと幸福なことか――
ん
んう
んっ
はうん



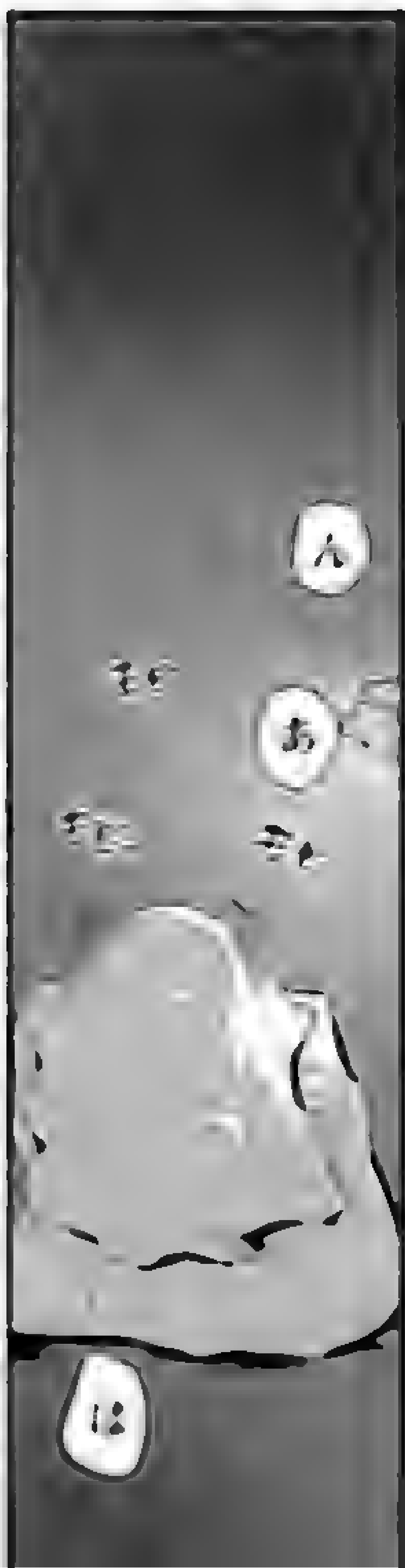



パチ…
すまん…な


ーっ
こい
ソウジロウ
あ
あ
ん


――あ
ふあっあああ
ビクッ!
ビクンッ!


ん
ふ…


ん
あ
は


あ
ん


ズ
ん
んん…

ぐりっ

そんな…イったばかりなのに

激し

す

びくっびくっ

ぎ

ふ

ふふ

ニマァ…

いいぞ

ポタ


ん
あっ
ん
全て私にぶちまけろーー！
ソージロオ
ん
あは
あ
は


イクウッツ
あっふ
びくっ！
びくんっ。
びくくっ!!

きゅっ





はじめまして
小島紗と申します。
このたびは この本を手に取って
いただき、ありがとうございます！
ソウジロウは かっこ良く
蛍さん、システィナさんは 可愛く
描けるように頑張ります！

原作の
伏（龍）先生

ネームの
そよき先生

着彩してくれた
グラフィッカーさん

そして このマンガを読んで
くれた皆さんに
心から感謝です!!

?

私の勝手な
シュミで蛍さんに
バスタオルを巻いて
もらいました
大変申し訳ないです。

小島紗
こじまさや

【原作】伏(龍)

『魔剣師の魔剣による魔剣のための
ハーレムライム』原作者の伏(龍)です。

いつか自分が書いた小説を本にしたい!
そう夢を抱いて本作を書き始めたのですが、
嬉しいことに縁あって新紀元社(モーニングスターブックス)さん
のおかげで夢を叶えることができました。
それだけでも幸せだったのに、まさかソウジロウやシスティナ、
そして蛍さんが小島先生の美麗かつ妖艶な絵で
大活躍する姿を見ることが出来るとは思いませんでした。
漫画ならではのテンポの良さとオリジナルの展開、
そしてもちろんムフフなシーンもとても素晴らしかったです。
私も一読者としていつも続きを楽しみにしています。

それでは、『魔剣ハーレム』をこれからも
応援よろしくお願いいたします。

伏(龍)

【構成】そよき



単行本発売おめでとうございます!!
構成係のそよきと申します。

構成とはなんぞやと申しますと
原作様のお話を漫画にする前段階の
シーンの取捨選択やネーム(絵コンテ)
のことです

原作様、漫画家様ともに素晴らしい
才能の方々によってつくられる
「魔剣師の魔剣による魔剣の
ためのハーレムライフ」
を少しでも良い作品になるように
頑張っていきたいと思います!

そよき

かっこよくて
カワイイ刀(ヒト)
蛍さん好きだあああ

魔剣師の魔剣による魔剣のための
ハーレムライフ (1)

著　者：伏(龍)、小島紗
発行所：竹書房
発行日：2019年11月1日



BC
BAMBOO COMICS
魔剣師の
魔剣による魔剣のための
ハーレムライフ
1
原作 伏(龍)
漫画 小島紗
キャラクター原案：POKImari
構成：そよき
協力：新紀元社
竹書房
ハーレムライフ
魔剣師の
魔剣による
魔剣のための
【原作】伏(龍)
【漫画】小島紗
【キャラクター原案】POKImari
【構成】そよき
【協力】新紀元社
BAMBOO COMICS
1

ISBN978-4-8019-6785-4

心のままに世界を歩み、楽しむ!!

普通の高校生だった**富士宮総司狼**は
ある晩自宅を襲った強盗に刺されて短い生涯を終えた。
はずだった。
総司狼は『神』と名乗る存在により
喋る大太刀『**蛍丸**』、自らの命を奪った小太刀『**桜**』と
ともに異世界へと移住することに！
わくわくしながら異世界を征く彼の前に
盗賊に襲われている馬車が――!?
本格**異世界ハーレム活劇**、
開幕――!!



